

学校関係者評価報告書

佐子委員長が議長となり、令和3年度自己点検・自己評価報告書に基づき、基準1から基準10の各項目を確認して、次のとおり評価した。

評価の結果、特に基準9-43「自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか」の項目については、学校全体で早急に取り組まなければならないことを提言した。

(評価委員)

佐子委員長 (佐子鍼灸整骨院・卒業生)、北川委員 (大阪府柔道整復師柔道連盟・卒業生)  
 上山委員 (大阪高等学校)、村上委員 (関西大学北陽高等学校)、酒井委員 (さかい鍼灸院・卒業生)  
 竹藤委員 (鍼灸治療院ひろ・卒業生)、田中委員 (デイハートたなか・卒業生)

(評価区分)

- 5 極めて適切に行われている      4 適切に行われている      3 普通  
 2 適切にややかける                  1 適切でない                  NA あてはまらない

評価項目		評 価	
<b>基準1 教育理念・目的・育成人材像等</b>			
1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	建学の理念、建学の心が定められており、これらに基づき、学則を含め、学科毎のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーが定められている。	4
1-2	学校の特色はなにか	ICTを活用した教育、多様な実習教育、キャリアビジョン科目等により、社会の要請に対応できる医療人を養成、また、創立97年の歴史、多数の卒業生の輩出、同窓会活動により、生涯教育の充実に努めている。  医療資格+αの資格取得、国家試験合格を支援する個別指導体制、就職率100%、Wライセンスサポート制度を特色としている。	4
1-3	学校の将来構想を抱いているか	定員の充足を図り、安定した学校運営が喫緊の課題である。  将来構想に向けて、学院全体として具体的な中期計画を策定している。	4
<b>基準2 学校運営</b>			
2-4	運営方針は定められているか	役員会を通じ、明確に定められている。	4
2-5	事業計画は定められているか	役員会を通じ、明確に定められている。  ただし、事業計画で計画されている数値目標に到	4

		達していない項目も一部あることから、問題点を抽出して改善に取り組む必要がある。	
2-6	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	学院「組織及び運営に関する規則」及び組織図に基づいた指示命令系統が明確になっており、効率的な運営に取り組んでいる。	4
2-7	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	職員給与規程により賃金支給に関する制度が整備されている。また、教職員が個々に目標を設定した目標管理シートに基づき、人事考課に取り組んでいる。	4
2-8	意思決定システムは確立されているか	管理運営会議規程等に基づき、意思決定システムは確立されている。	4
2-9	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	全教職員がパソコンを所有し、学内LAN構築により、情報の共有や業務の効率化が図られている。また、全学生にタブレットを配布し、ICTを活用した情報発信を行っている。	5
<b>基準3 教育活動</b>			
3-10	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	学科別に3つのポリシーを定め、教育目標、育成人材像を方向付けている。企業等の連携を強化し、開業または勤務鍼灸師、柔道整復師による実技教育、臨床実習に取り組んでいる。	4
3-11	各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	3年間の段階的教育により、外部施設での実習を通じ、業界の人材ニーズレベルに合わせた知識、技術、人間性の修得に向けて取り組んでいる。	4
3-12	カリキュラムは体系的に編成されているか	カリキュラムは常に問題点を検討・改善できるよう取り組み、完成年度を迎える年度にあたっては、教育課程編成委員会の意見も踏まえて新カリキュラムの構築を検討している。	4
3-13	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	各科目は、科目間の連携性を意識し、積み上げ方式で構築されているが、カリキュラムマップがあれば分かりやすい。	3
3-14	授業評価の実施・評価体制はあるか	全授業科目において授業評価アンケートをWEBで実施しているが、非常勤講師担当科目の回収率が低いことから、方策を検討する必要がある。	3
3-15	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	養成施設規則に基づく教員数が確保できている。FD研修会の実施、教員研修会、学会等への参加により、教員の資質向上に努めている。	4
3-16	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	GPA制度を導入し、各科目の成績評価が60点以上をもって単位認定する旨を学則に定め、シラバ	5

		スを学生に配布して明確にしている。	
3-17	資格取得の指導体制はあるか	定期試験等による成績不良者に対し、フォローアップセミナーや個別指導等を実施する指導体制がある。その結果、国家試験合格率は、全国平均以上を維持できている。	5
<b>基準4 教育成果</b>			
4-18	就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	就職に対する定期的なアンケート及び就職相談会を実施し、就職に対する意識を高め、就職率の向上に取り組んでいる。また、過去の就職先を整理し、教員による就職先への訪問が実施されている。	4
4-19	資格取得率の向上が図られているか	昨年度と比較し、柔整学科は合格率が上昇、鍼灸学科は若干低下したが全国平均より10ポイント高く、向上が図られている。	5
4-20	退学率の低減が図られているか	アドバイザーミーティングを定期的開催し、長期欠席者の早期発見、成績不良者に対する個別指導に努めている。また、クラス担任、科目担当者、教務課が連携し、早期対応に取り組んだことにより、昨年度より退学率が低減している。	4
4-21	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	卒業生の名簿データが構築されているものの、開業地、勤務地、専門領域等の詳細な情報の把握ができていない。一部の卒業生については、「夢を叶えた卒業生たち」としてホームページで現在の活躍を紹介しているとともに、業界団体の役員名簿等で把握している。	3
<b>基準5 学生支援</b>			
5-22	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	キャリア支援室の整備を進めるとともに、コロナ禍においてもICTを活用したオンライン就職相談会を実施するなど、学生課とクラスアドバイザーが連携し、就職・進学に対する指導が機能している。	4
5-23	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	学生課を中心にクラスアドバイザーと連携し、学生相談に対応している。また、専用カウンセラーを相談室に配置する調整を進めている。	4
5-24	学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	高等教育の修学支援新制度の対象機関として認定を受けている。学納金の納付については、分納、延納制度があり、学業に専念できるように対応している。	4

5-25	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	附属治療所を開設しており、専任教員による健康管理体制が整備されている。また、校地内に連携クリニックがあることから、体調不良の際は、速やかに受診できる体制が整っている。	4
5-26	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	規程に基づき、クラブ発足等の支援体制が整備されている。	4
5-27	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	学生寮はないが、信頼のおける賃貸業者を紹介して対応している。校舎内には食堂があり、食に対する支援が行われている。	4
5-28	保護者と適切に連携しているか	例年、オリエンテーション時に保護者説明会を実施されているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮して実施できていないことから、WEBによる実施の検討も必要であった。	3
5-29	卒業生への支援体制はあるか	同窓会が組織化されており、毎年、卒後研修会等が定期的に計画され、生涯学修を支援している。	5
<b>基準6 教育環境</b>			
6-30	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	委託業者により、施設等は適切に管理されている。教育上において、修繕が必要と報告を受けた設備等は早期対応に努めている。 また、コロナ禍において、検温器、パーテーション、消毒液が常時設置できている。	5
6-31	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	老健施設、スポーツ団体、医療機関等との連携を行い、外部施設での臨床教育の整備に努めているが、インターンシップ実習の充実を図る必要がある。	3
6-32	防災に対する体制は整備されているか	規程等が整備され、業者による定期的な消防点検、機器点検等は実施されている。なお、コロナ禍ではあったが、方法を考慮し、学校全体としての防火、防災訓練を実施すべきである。	3
<b>基準7 学生の募集と受け入れ</b>			
7-33	学生募集活動は、適正に行われているか	定員充足に向けて、毎月オープンキャンパスや平日学校説明会を開催し、媒体及びインターネット広報を中心とした学生募集活動を実施しているが、募集定員を満たしていない。	4
7-34	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	教育成果を国家試験合格率として捉え、公表している。また、ホームページ、パンフレット等において、就職実績、卒業生の活躍等を教育成果として公開している。	5

7-35	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	募集要項に基づき、入学試験を実施し、可否の判定については、入試管理会議を経て、適切かつ公正に実施されている。	5
7-36	学納金は妥当なものとなっているか	学納金について、教育負荷率を考慮し、1単位あたりの授業料を講義、演習、実習毎に算出しており、妥当なもの判断できる。	4
<b>基準 8 財務</b>			
8-37	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	中期計画に基づき、財政基盤の安定に取り組んでいるが、帰属収支差額が赤字となっている年度が続いている。	3
8-38	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	予算、収支計画は役員会を通じ決定されており、有効かつ妥当なもので計画されている。	4
8-39	財務について会計監査が適正に行われているか	公認会計士のもと、会計監査が適正に行われ、ホームページにおいて情報公開されている。	5
8-40	財務情報公開の体制整備はできているか	学院として大学のホームページにおいて公開する体制が整備されている。	5
<b>基準 9 法令等の遵守</b>			
9-41	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	あはき、柔道整復師関連法規及び専修学校設置基準等を遵守し、適正な運営がなされている。	4
9-42	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	規程を設けて対応できている。また、個人情報の取扱いについては、教職員を含め周知徹底されている。	4
9-43	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	授業評価アンケート及び卒業見込者に対する学校評価アンケート等により、自己点検を実施している。アンケート結果に基づいた個々の問題点を確認し、情報共有を行い、学校全体として改善に取り組む必要がある。	2
9-44	自己点検・自己評価結果の公開はしているか	適正にホームページで公開されている。	5
<b>基準 10 社会貢献</b>			
10-45	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	企業の健康講座等への教員派遣と行うとともに、施設を開放して生涯研修等に取り組んでいる。また、附属治療所を設置して地域住民に対し、健康維持増進に努めている。更に、吹田市及び大阪市と「津波災害又は水害時における緊急一時避難施設としての使用に関する協定」が締結されている。	5